

現在、29カ国の学習者と交流しています。

市岡国際教育協会・日本語教室は、大阪府立市岡定時制高校の閉鎖を受けて、働きながら学ぶ「定時制の灯」を消したくないと定時制高校の同窓会が中心となり1996年5月にスタートしました。NPO市岡国際教育協会が運営し、市岡高校同窓会に後援して頂いております。

発行人/市岡国際教育協会理事長 吉田徳夫 /編集/広報係 大阪市港区市岡元町2-12-12 TEL/FAX:06-6582-0348

特定非営利活動法人 市岡国際教育協会 日本語教室

- 場所 大阪府立市岡高校内
- 日時 金曜日午後7時から約2時間
- ボランティア参加費 入会金 1,000円 年会費 1,000円
- 学習者は無料

市岡日本語教室が十周年 港区民センターで記念式典

市岡日本語教室が発足から十周年を迎え、6月25日に港区民ホールで記念式典を行いました。のべ400人ほどの人が参加され、盛大に十周年を祝いました。主なプログラムは以下の通りです。

- ・ 会長挨拶
- ・ 理事長挨拶
- ・ 来賓祝辞
- ・ 功労者表彰（谷口さん、小島さん、林さん）
- ・ 市岡高校ブラスバンド部演奏
- ・ 学習者による日本語弁論大会。

インドネシア ジャワ島の地震 見舞金5万5千円集まる

今年5月のインドネシア、ジャワ島の地震に関して、日本語教室で募金活動を行いました。おかげさまで、6月末までに、55,027円の寄付金が集まりました。使い道については、後日の号で報告いたします。ご協力ありがとうございました。

式典終了後は、ティー・パーティーに移り、来場された方に、世界各地のお茶やお菓子が振舞われました。同時に、学習者による世界各国各地の民族音楽や民族舞踊のパフォーマンスが行われました。また、地元団体によるコーラス、銭太鼓、踊りの披露もありました。会場内には、各国、各地域のブースも設けられ、それぞれの国や地域の紹介もありました。弁論大会の様子については、おいおい紙面で発表していきたいと考えています。

ボランティア・リレー！ エッセイ 第18回

4班 上田富太郎

私の子供時代はテレビはありませんでした。ニュースなどはラジオ、新聞などで知りました。少しだけ白黒の写真が付いていました。現在は情報技術、情報網など目覚しく発達し世界中どこからでもリアルタイムでカラーテレビによって家庭に入ってきます。けれども中身は当時も今も余り変わらな



うに思います。なぜだろうと私は考える事があります。その中の一つには人間も何千万種の生物の一つ（ホモサピエンス）です。何億年も前から生き残ってきた生物はいろいろな競争、環境に勝ち現在があると思っています。生物は争いが避けられません。けれども人間には倫理、道徳、正義など動物にはないものを持っています。私は聞いた事があるのですが私達は母なる太陽という事があります。砂漠の国では太陽は地獄、苦しみと

投稿特集① 日本語教室への提言

市岡教室に参加してまだ8ヶ月ですが・・・

◎教室の広さに対して人数が多すぎて、声を張り上げるようにしては聴こえない。
(半数に分かれて、もう一曜日というのは無理でしょうか?)

◎学習者も欠席、遅刻の連絡を必ずすることによって、ボランティアも別の方のお相手をするか、しばらくなら、待っているようにする。(中途半端にならないために)

◎飲み物の持参を禁止するだけでなく、教室に来る前の飲酒も自粛すべきでは? 学習者とは接近してお話しをするので、「匂いがたまらない、止めて欲しい、でも内緒です、言わないでください」との声を聞きましたが、事実私も確認しました。

◎ボランティア自身も、出来るだけ、正しく美しい日本語を話すように勉強すべきでは? とのご意見もあり。基本の「基」だと思います。
(大阪弁が悪いというのではなく折角日本語を勉強するために来ているのですから、期待に応えるべきではないでしょうか。)

◎8時20分ごろ突然マイクでアナウンスが始まりますが、騒がしく殆ど聴こえません。まず静粛を呼びかけてから、お話しただければ徹底すると思います。

新人の身で生意気なことを書かせていただきました。
(匿名希望)



考えるとという事を聞きましました。世界の人はそれぞれの永い環境、歴史の中でそれぞれの価値観、宗教観、人生観などを持っています。このグローバルな世界の中で自分をシッカリ持ち(アイデンティティ)相手を理解する努力をしていく。私はこのような考え、生き方をしていきたいと思っています。

投稿特集② 市岡国際教育協会10周年について 私の考えていること

6月25日にいろいろなイベントが企画されております。これは10周年の行事として非常に嬉しい事です。それと私考えますのに、これからの日本は、ますます外国人との協働、協業の時代が加速してきます。この市岡も次の20周年を目指して、何か継続的な企画が出来ないでしょうか? 外国人の家族に対して日曜教室を開くとか、市岡高校生と外国人との継続的なコミュニケーション交流とか、何か25日だけで終わりではない事を考えられませんか?
(4班 上田 富太郎)